

びふか

議会です こんにちは

2006 / 1

第56号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



寒さ気にせず元気な子供たち

《キッズスキー教室》

主な内容

条例制定・補正予算 2P

第4回 指定管理者の指定・規約等の変更・同意 3P

定例会 一般質問 9議員が登壇 4P~9P

請願・意見書 10P

第3回臨時会 平成16年度各会計決算認定 10P~11P

函岳のめ 議員投稿～村山議員 12P

委員会レポート 13P

私からのメッセージ 石谷智規さん・向井貴恵さん 14P

第4回 定例会

公園・体育施設など46施設、指定管理者へ

民間活力で活性化期待

△美深町長期契約を締結することができる契約を定める条例の制定について
平成16年末に地方自治法及び施行令の一部が改正され長期継続契約が可能になりました、物品・施設の維持管理等の業務委託・保守管理業務・車両の運行管理業務委託等が長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定。

質問 方向性は良いが、長期契約の中に解約等の条項も必要と思う、この対応は。

総務課長 条例で網羅しながらも商取引や契約関係では、一定の民法・関係法律の中で整理される。

△一般会計補正予算
各種事業費の確定や入札減により、歳入歳出それぞれ2570万8千円を減額し、予算総額44億8652万5千円となる。

(主な歳出補正の内容)
総務費で庁舎ボイラー室アスベスト除去工事請負費242万円の追加、衛生費で美深厚生病院の損失補助金1816万円追加、保健体育費でエアリアルコース造成委託料150万円追加。
(主な歳入補正の内容)
固定資産税の償却資産増で1242万円追加、普通交付税1238万円追加、地方債では、起債事業の実績減により1010万円減

職員の異動による人件費に係るもので歳入歳出それぞれ、166万9千円を減額し、総額6億7993万6千円とする。(全員賛成)▽老人保健特別会計補正予算

医療費増によるもので、歳入歳出それぞれ、7433万円を追加し、総額を8億1187万4千円とする。

質問 今後の予防介護の取り組みについての考えは。

保健福祉グループ主幹 予防が第一と認識し、今後保健推進委員と、地域の福祉活動等を推進するという事に力を注いでいきたい。

質問者 藤守・岩崎・諸岡(全員賛成)

▽簡易水道事業特別会計補正予算
職員の異動によるもので
歳入歳出それぞれ 32万8千円を減額し、予算総額を
3861万6千円とする。
▽下水道事業特別会計補正予算
(全員賛成)
職員の異動によるもので
歳入歳出それぞれ、3万5千円を減額し、予算総額を
2億5181万円とする。
(全員賛成)
▽水道事業会計補正予算
水道事業収益で 108万9千円を減額し、9657万2千円とした。
水道事業費用で 182万9千円を減額し、8156万6千円とした。

平成17年第4回定例会は、12月19日から22日の4日間を会期として開催された。

一般会計補正予算・各特別会計補正予算・指定管理者の指定についてほか議案26件・同意2件・議会側から請願2件・意見書2件を提出、議案1件が否決され、その他議案は原案可決された。

一般質問は9人が登壇した。

質問 エアリアルコース造成で利用者に不便はないか。
教育グループ主幹 初心者
コースはリフト南側を使つてもらい、大会後は一般利用者も使えるようにする。
質問者 倉兼・藤守・酒井・
南・齊藤・林・今泉・越智
議員 (賛成多数)
▽国民健康保険特別会計補正予算

▽介護保険特別会計補正予算

(全員贊成)

指定管理者の指定

▽指定管理者の指定

公共施設を指定管理者に指定する10の議案審議。

公募によらない指定は、町内16カ所のコミュニティセンター、10カ所の給水施設、恩根内放牧場、農業集落環境管理施設（堆肥場）、物産展示館「双子座館」の計29施設。

公募による指定は、美深霊園・びふか葬苑、旭町ふれあいステーション、5カ所の公園、3カ所の都市公園、7カ所の体育施設の17施設。

主な質疑 コミセンの指定に関し自治会・町内会以外の指定による管理運営上の問題点、指定者が委託する場合の使用料・従来のコミセン自主管理費用との関係、制度について公平な説明が充分なされたのか説明責任の認識、施設の有効活用と利用料の考え方、防火責任者の問題、指定者による業務の一部委託の考え方、同一業者が全件に応募したことの判断、個人情報漏洩防

止の方策、公園管理と施設関係、地元企業の育成振興と指定審査の視点、収支計画書で一部指定管理料増加を計画する内容と経費削減の関係、選定基準に点数制を取入れたことの評価、選定委員構成に外部委員導入の必要性と選定結果の公表、公園管理に地元自治会指定も選択肢、若者の雇用による経済効果と制度運用、経費縮減の視点から指定事業者の創意工夫のあり方、指定管理者の資格の必要性、指定管理に一括指定したことの是非など。

答弁の概要 町民への説明責任は果たした。公募では、収支計画等さまざまな視点から充分検討を加えた選定委員会の結論。

△上川支庁管内町村公平委員会共同設置規約の一部改正について

名寄市と風連町の合併に伴い、公平委員会を共同設置する団体から風連町を削り、27団体とする。

（全員賛成）

▽上川教育研修センター組合規約の変更について

構成市町村は、名寄市と風連町の合併に伴い、22市町村に、組合議員定数を1人減じ28人とする。

（全員賛成）

▽名寄地区衛生施設事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び名寄地区衛生施設事務組合規約の変更について

当事務組合の構成市町を、

町村とし、組合議員数もこれまでの各市町村2人を、名寄市は3人、他町村はそれぞれ2人に改め、合併在任特例を採用する。

（賛成多数）

▽名寄地区介護認定審査会を共同設置する地方公共団体の数の減少について

以上2件は、当審査会の構成団体から、先に現名寄市と風連町を削り、後に新名寄市を追加する。

（全員賛成）

▽上川北部消防事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び上川北部消防事務組合規約の一部変更について

3市町に改め議員数は、名寄市6人・下川町2人・美深町2人、風連町分については、合併在任特例を採用する。

3市町に改め議員数は、名寄市6人・下川町2人・美深町2人、風連町分については、合併在任特例を採用する。

規約等の改正

▽上川支庁管内町村公平委員会共同設置規約の一部改正について

当事務組合の構成は5市町村とし、組合議員数もこれまでの各市町村2人を、名寄市は3人、他町村はそれぞれ2人に改め、合併在任特例を採用する。

（賛成少数で否決）

▽名寄地区介護認定審査会を共同設置する地方公共団体の数の減少について

（賛成多数）

▽名寄地区介護認定審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

（賛成多数）

▽上川北部地区広域市町村圏振興協議会を設ける普通地方公共団体の数の減少について

（賛成多数）

▽上川北部地区広域市町村圏振興協議会を設ける普通地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

（賛成多数）

教育委員会委員
監査委員

岡崎三郎氏の選任に同意



岡崎三郎氏（60）の再任に同意した。
岡崎氏は、平成10年1月より就任し、
3期目となる。

浅水弘子氏の任命に同意



平成17年12月27日の任期満了に伴い、
浅水弘子氏（51）の再任に同意した。
浅水氏は、平成9年12月より就任し、
3期目となる。

（原案可決）

質

問



倉 兼 議 員

食育の取り組みは

質問 不規則な食事、栄養の偏り、生活習慣病の増加など食のあり方が社会問題となり、17年6月には食育基本法が制定されるなど、食育の重要性が問われている。

質問事項

- 山村留学の取り組みについて
- 食育教育の取り組みについて
- デマンド交通システムの導入について

国と道との整合性をみて

町長 食育の必要性を感じすでに町民の活動も始まっている。

これまでの教育の基本は、「德育(道徳)・知育(学習)・体育」の三育としてきたが、その基礎は「食育」であり、食育を加える事の教育委員会の考えは。

17年4月から栄養教諭の配置が認められたが、その取り組みの考えは。



諸 岡 議 員

質問事項

- 農業振興策とEM微生物土壤改良剤の活用について

前向きに検討

町長 EM菌を利用する事で良質の農畜産物として安心安全な食品が現に販売されている。

町長 EM微生物に対する認識は薄かったが、今回、活用している農家で勉強させてもらった。

EM微生物の活用を

れている。

すでに、多くの書籍や研究資料が発表されており、農業振興センターでの研究や家庭菜園での利活用はできなか。また、EM菌活用のPR等推進には、町も積極的に取り組むべきでは。

質問 当町の農家でも数年前から利活用しているEM微生物を、農業振興策に使えないかを伺う。

特にバク堆肥等に散布利用する事で、良質の堆肥の生産ができる事から、土壤改良にも役立つと思う。

また、EM菌を利用した減農薬の野菜や畜産の飼育で良質の農畜産物として安

教育委員長 食育については同じ見解を持っている。学校給食について、現段階では議論の対象にはなっていないが、発想の転換も必要と思う。

教育長 栄養教諭の件は、給食を行っていない面もあり、配置の段階には至っていない。

教育長 栄養教諭の件は、給食を行っていない面もあり、配置の段階には至っていない。食育の所見は、「食を通して人づくりをする」が基本、子供はもちろん、親の食育、地域挙げての食育の取り組みが必要と思う。

小中学校改築に合わせ、検討協議していきたい。

発想の転換が必要

食育推進計画・食育推進会議の件については、国・道の基本計画との整合性を見ながら十分検討したうえで対応していきたい。

食を通じて人づくり



保育所での給食

般



藤守議員

質問事項

1. 学校教育について

特色ある学校教育は

質問 三位一体改革により

教育も地方の創意工夫でより充実を図らなければならぬ時代に入ったが、本町の義務教育確立のために

① 特色ある教員の確保が前提であるが対策は。

今回協定を結んだ北海道教育大学との事業内容は。

② 子供たちの頑張りを応援する支援体制が手薄でないか、近隣町村では世界に羽ばたく選手養成に取り組んでいる。

今回エアリアルスキーが取り入れられたが指導体制は。

③ 安全でゆとりと潤いのある学習環境の整備について、すでに小学校は平成20年に改修の計画で進んでいる。

④ りくみは。連携した学校づくりのと

地域の人材を生かして



良質堆肥をEM菌で

現在はパンケ地区の方が

農薬を3分の1程度に抑えて、南瓜やソバを栽培している現状にあり、もう少し時間をかけて農業者に理解を得る必要があるのではないか。

パンケの堆肥場は、指定管理者制度で農協に管理を任せるので、良質の堆肥を作つて利用してもらうよう行政側から農協に申し入れたいが、これまで使用されなかつたのは、課題もあるのでは

パンケ地区の方々が農薬を3分の1程度に抑えて、南瓜やソバを栽培している現状にあり、もう少し時間をかけて農業者に理解を得る必要があるのではないか。

ない。

民間でやれるものは民間で、やってほしい。

行政としても前向きに検討していきたい。

『EM』とは、特殊な微生物ではなく、自然界に生息分布している微生物の中から、自然界を浄化する働きや物質の生合成を行う働きを持つ有用な微生物を、人間の手によって培養させたもの。主な微生物は、乳酸菌、酵母など

会などにバス等の対応をしている。

エアリアルについては少

年団組織をつくり、体協、体育指導員と連携し普及させたい。

18年度学校改修検討委員

会を立上げ意見要望を入れ基本計画をまとめたい。

学校・家庭・地域との連

携等は児童生徒がのびのびと安心・安全を第一に地域

の人材を生かした体験学習

を取り入れ総合学習として成果をあげている。

学校行事等を開催し、地

子供達への支援は、学校

教育や少年団活動の中で大



キッズスキー教室

質

問



質問事項

1. 農業経営の安定化対策について

村山議員

農業経営の 安定化対策は

本題

質問 夏場の天候に恵まれ、どの品目もまずまずの収穫で、水稻については、作況指數110%を超える大豊

作とはいえども農業生産物全般が低価格によって、大変苦しい状況である。

再び牛乳の生産調整が始ままり、米国産牛肉の輸入も再開される。

本町の立地条件から見て、

畜産は重要な品目であり、生産抑制は大問題である。

農家経済は、一段と厳しさが増すと思われる。

畜産は重要な品目であり、生産抑制は大問題である。

農家経済は、一段と厳しさが増すと思われる。

経営安定のためには、生産費の抑制こそ最大の防御である。国が打ち出している法人化や集落営農組織の充実を図るべきである。

農業問題を真剣に捉えていかないと、町の活路が見出せないとと思う。

町長の所見を伺う。

認定農家を育成

町長 17年度の作況において水稻については、開町以



今泉議員

質問事項

1. 行政改革推進について
2. 中心市街地の活性化事業の対応について

サービス低下が心配

質問

18年度から公共施設

使用料の見直しによつて町民の負担が重くなる中で、

そのほとんどの施設を指定管理者制度の取り入れで民

間に管理運営を移行されるが、住民サービス低下につながらないか。

また、本年度から移行されたチヨウザメ館の管理運営は、長年の経過を踏まえながらも課題は多く、人工化には3年連続失敗する

適正な管理指導で 対応

対応

町長 指定管理者制度は町の管理権限を移行させるところになるが、法や条例に基づき施設管理の適正を期すために、業務状況報告を定期的に求め十分協議する中で、住民サービス低下のないように指導したい。



必要な基幹産業の確立

来の豊作であったと認識している。

しかし、豊作と収入が比較しない事例が出てきた。

18年度から牛乳の生産調整が始まる。

また、BSEで中止していた米国産牛肉の輸入が再開となつた。

政府は、食料農業農村基本計画に基づき、品目横断的政策を平成19年度から実施、畑作4品目を保証するものである。

認定農家が原則対象となるので、小規模農業者がどのようにして生きたい。

基幹産業の農業の確立がなければ町の姿は見えない。農協、行政ともども知恵を出し合つて先の見える農業にしていきたい。

う対応するか大きな課題となる。

従つて、法人化や集落営農といつた対応が必要となつて

いる。

農業経営の安定化対策は

必要な基幹産業の確立

般

乳幼児教育と施設の見直しは



菅野議員

質問事項

1. 乳幼児保育のあり方と保育施設の見直しは
2. 幼保一元化に向けたプロジェクトの新設は
3. 小中学校施設について
4. 駅東地区の環境整備について

町長 4月・5月と2名の職員が出産のため休業。代替職員を確保したが、夏場になり入所者が増え、実績を大きく上回る状況から臨時職員等の確保に町内・近隣市町村・大学等に照会、夏の期間だけというのは大変難しく、結果として待機者が出たという状況。

再質問 景気が不透明の中さらに来年は共稼ぎが増え、今年を上回るような園児の入所も考えられる。来年の職員の対応と、延長保育については。

質問 幼保一元化は3年後の平成20年と聞くが、一元化に向けての保護者の参画したプロジェクトチームの立ち上げを早急にするべき

幼保一元化は 早急に

町長 来年度は予想がないが、本年度の入所状況から見て、延長保育もしながら対応できるように職員の充実を検討していく

職員充実で対応

質問 17年度当初、保育所の園児は37名でスタート、夏場より園児が増え現在62名の園児を15名の職員で運営、内2名が育児休暇で休職、現在13名で対応しており大変厳しい状況と思う。職員の対応等について伺う。



市街地計画はどうなったか

質問 中心市街地活性化計画が策定され既に4年が経過しているが、その後の対応はどのようになっている。また、本町のチヨウザメ問題を抱えながら原因を探しているのが現状。

町長 活性化事業の申請にはまだ具体的に至っていないのが現状。

特に現下の経済情勢、将来の町村合併等から当面は凍結する方向で検討されているが、商工会としての最終報告を待って町民に報告したい。

凍結の方向で検討

るのか、その経過を町民に情報提供すべきでないか。



関係者と 早急に協議

教育長 内部においてはプロジェクトチームがあり、基本的な方向性もまとまり、上川教育局と相談できるまでこぎつけた。来年度早急に関係者の意見を伺う機会をつくり、関係者に説明をしていきたい。

質

問



岩崎議員

乗り合いタクシー 実現への取組は

質問 6月議会で公共交通の現況と課題についての質問に、町長は、「高齢者が増えれば増えるほど生活に密着した足をどう確保してあげるか」ということが大きな課題、仁宇布路線バスの将来的な憂慮もあり、住民にやさしい乗り合いタクシーのシステムは良い制度の認識にあり、交通体系の総合的な見直しが研究課題である」と答弁された。

全国の取組も21カ所の市町村に拡大し、商業振興、地域振興の視点からもしっかりしたシステムとして動き出している。

全国の成功事例を基に広く市民に問題を投げかけ早急に取り組む必要と思うが、内部検討の状況と新年度の取組について伺う。

18年度に
内部研究会を

町長 必要性は認めている。デマンド交通システムについては良い制度であり、

質問事項

1. 住民に優しい乗合タクシーについて
2. 情報共有が町民参加のまちづくりにつながる。ホームページと広報の充実について

将来の課題であるということは今も同じ考え方である。実現するには多様な整理をしなければならないことから部内の研究会の立ち上げを18年度に検討。

情報更新が重要

質問 情報共有が町民参加の町づくりにつながるホームページの充実、急速なインターネットの普及の現状にあって美深町のホームページの更新状況が非常に悪く



南議員

質問事項

1. 行政改革における職員の意識改革について
2. 平成18年度予算編成における農業予算の考え方について
3. 新年度にむけての子育て支援の考え方について

開設当時そのままと思われる部分もあり、その改善策は。

更新に鋭意努力

町長 これからまちづくりは協働のまちづくり。新しい情報を常に更新するホームページの充実は、各職員と申し合わせ、これからも鋭意努力する。

いかに進める 意識改革

質問 公務員改革がうたわれる中、当町における職員教育、意識改革をいかに進めめるのか。

公務員にも企業意識が必要、数値目標、ノルマ制で勤務評価し、年功序列ではなくポストを与えるなど若手職員にも士気の高揚を図るべきでは。

また、ホームページなど情報発信にも意識改革が必要ではないか。

人事をやっている。
人事院勧告による昇給の制度改正もあり、住民から勤務評価をしっかりとし、

時代に即応した意識はもっている

町長 5年間で職員を23人減らすなど新しい時代に対応できる意識は持つており、職員研修も30人前後派遣し、中には自己資金で研修するなど住民に期待されるために努力はしている。

ノルマをかけることで弊害も出てくる。



仁宇布路線バス



般

林議員

質問事項

が一番に安堵できる場である。

経営数値ではなく、倫理的観点から、この施設の運営は町に行うべき。

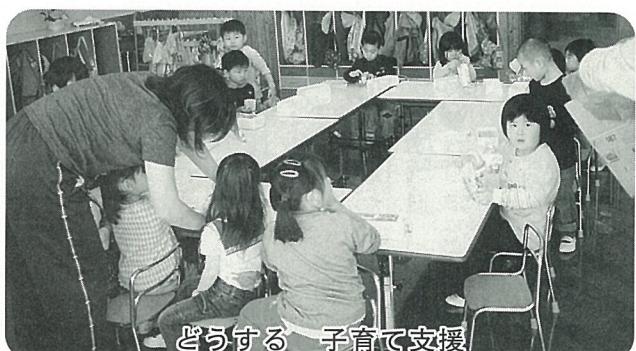
るところであり、経費節減は将来のこととて民間のノウハウを入れてそれに対し行政もバックアップする。今までできなかつた事が民間であれば出来る、また経費だけで民間委託するものではなく、色々な意味でプラスが多い。

が増える要素が高くなる。
安心して余生を過ごせる
場所として町が運営し、福祉
のまちを目指すべきである
と思うが。

町長 現在も福祉のまちと
して自慢しても良いと思う。
2つの障害施設、養護学校、
児童施設、民間のグル
ープホーム等々、また、雇用
用の場も民間の方が行政が
行うより別な意味での雇用
の場が開かれると期待、入
所者が心配するような運営
にならないと確信する。

質問　国の行政改革の狙いは、地方への支出を大幅に削減するもので、主に人件費を重視し、その手段として官から民へと行政運営の効率化・組織のスリム化等を図るなかに、町は特別養護老人ホームの福祉法人への移管を進めているが、これからは町行政が直轄運営すべきと考える。

高齢化が進むなか、親子



質問 少子化対策は真剣に取り組むべき問題。
町民への公平な住民サービスを考えれば町独自の子供の医療費助成など、新年

町長 これまで実施してきた幼稚園での預かり保育、新年度からは保育所延長保育および一時保育実施の準備を進めており、安心して生み育てる環境づくりが大事と思っている。

町独自の子供医療費助成は現下の財政状況から無理。

どうする
子育て支援

求められる職員像を認識しながら職務を実現していく。町のホームページもさらには見てもらうために、職員体制の中で早急に研究していきたい。

できない
独自支援

度予算にむけた子育て支援
があつていないのでないか。

請願意見書

意見書を提出

▽消費生活相談体制の充実・強化を求める意見書

採択しました

▽消費生活相談体制の充実・強化を求める請願書

請願者 美深消費者協会
会長 片山滋子

紹介議員 藤守千代子

▽建設業等の経営基盤の安定および季節労働者の雇用と生活の安定を求める請願書

請願者 美深地区連合会
会長 茂泉正裕

紹介議員 小田中道雄

提出先 平成18年度からは、支庁相談所では電話相談を受けず、北海道立消費生活センターに相談体制を集約、一元化されます。

市町村においては、単独相談所の全面廃止という方針が出されています。

市町村においては、専門の相談員を配置することは厳しい財政状況の下では困難であり、地方に住む道民を物理的に実質切り捨てようとするこの新たな消費生活相談体制には反対です。

道は、消費生活相談員が現行どおり地域の相談電話を受けながら町村への助言・指導を行う、地域に根ざした相談体制の充実・強化を図るよう強く求めます。

提出者 提出者 菅野議員
賛成者 齊藤・諸岡・酒井
・小田中議員

提出先 上川教育研修センター組合規約の一部を変更する規約

▽専決処分報告
冬期失業者の教育訓練の展開を図るため「冬期雇用援護制度」を存続するとともに、中・長期的な改善を行うこと。

提出者 今泉議員
賛成者 村山・宮岡・林・
内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣・農林水産大臣

1項の規定により、上川教育研修センター組合の一部を次のように変更する。
士別市と朝日町の合併により組合を組織する地方公

共団体から朝日町を削り、合併により1団体減少するため、組合議員の定数を1名減にする。
したがって、定数は30人を29人に改めるものである。

▽建設業等の経営基盤の安定および季節労働者の雇用と生活の安定を求める意見書

国の「冬期雇用援護制度」は、季節労働者の冬期間の雇用と生活を守る重要な役割を果たしているにもかかわらず、平成18年度の暫定措置期間の終了をもって廃止しようとしている。

したがって、本道の冬期施工と季節労働者の状況を踏まえ、次の事項の実現について強く要望する。

①冬期施工量の増加を図り、季節労働者の冬期雇用の大および通年雇用化を促進させること。

②季節労働者の冬期雇用の拡大、通年雇用化の促進、冬期失業者の教育訓練の展開を図るため「冬期雇用援護制度」を存続するとともに、中・長期的な改善を行うこと。

第3回 臨時会

(11月27日)

条例改正

▽職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告において、約8,300の民間事業所

(約35万人)の4か月分の給与を調査した結果、月例給で官が1,389円、率にして0・36%上回っている。ボーナスの支給実績は民間で4・46月、官で4・40月。

民間が0・06月上回っている。

そうしたことから、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を次のよう

に定める。

基本給を引下げ、月例給を0・3%引き下げするもの。
勤勉手当は0・05月引き上げて0・75月分。
配偶者に係る扶養手当は500円引き下げ、13,000円とする。

(全員賛成)

名減にする。
したがって、定数は30人を29人に改めるものである。



平成16年度 =各会計決算を認定=

委員会報告の概要

平成17年第3回定例会において設置された「平成16年度決算審査特別委員会」(宮岡久夫委員長)は、11月7・8・9日の3日間開催し、付託された一般会計・特別会計及び水道事業会計の審査を行い、結果「認定すべきもの」と第4回定例会で報告し、全員一致で可決した。

一般会計ほか5特別会計の決算並びに水道事業会計の決算について、予算の執行が計画的に着実に行われたか、財政の健全な運用を図りながら必要最小限の経費で、最大の効果を得られるよう創意工夫を行ったか。また、厳しい財政状況下において健全財政を堅持する計画的な財政運営が行われたか、並びに行政水準を確保することができたか、さらに従来以上の行政サービスを達成できたかに審査の視点を置き、監査委員の意見をも参考にして、慎重に審査を行った。これらの視点を通しての審査の結果、町長、職員が一丸となって健全財政の維持に努めている。

財政全般が厳しい中で、一般会計及び5特別会計並びに水道事業会計、いずれも健全運営に努力が図られており、公債費比率は、前年比13・5%減少しているが、町単独建設事業及び道営事業負担金の減によるところである。

次に、公債費比率は、20・8%で前年度より1・7ポイント上昇しており、ここ数年は多額の起債償還が見込まれ、財政運営に一層の留意が必要と思われる。

また、投資的経費は、前年比13・5%減少しているが、町単独建設事業及び道営事業負担金の減によるところである。

財政関係指標について、経常収支比率は、16年度6ポイント上昇しており、課題として、経常一般財源収入の確保と、経常経費の抑制が肝要である。

持に苦慮しながらも、一定の行政サービスを行ってきただと判断した。

**歳入総額 71億 870万円
歳出総額 70億3,433万円
差引残額 7,437万円**

会計名	入ってきたお金	使われたお金	差引
一般会計	47億2,938	46億7,473	5,465
国民健康保険	6億8,497	6億6,766	1,731
老人保健	7億2,228	7億2,976	△748
介護保険	6億7,548	6億6,559	989
簡易水道事業	3,897	3,897	0
下水道事業	2億5,762	2億5,762	0
合計	71億 870	70億3,433	7,437

本特別委員会は「全員一致」で「認定すべきもの」と決した。なお、次の2点について意見を付した。

1点目は、一般会計ほか各会計に共通する事項として、予算の執行に当たっては、常に財政状況を見ながら、職員の意欲を最大限に發揮させるなど、より効率的に行わることを求める。

2点目は、指定管理者制度の有効活用であり、直営で維持管理していた施設(チヨウザメ館等)について、今後は民間が指定管理者となつて運営されることとなるものがあるが、その運営については、充分に管理監督されて、予算の適正な執行にあたられることを求める。

災い・いぬ年に

穏かなお正月を迎える。今年は世の中が平穀無事であるよう願いたいものである。昨年はJR福知山線脱線事故から幼児虐待事件、耐震強度偽装事件まで、ことの根源は人の心の奥底にある。欲の増長が原因と思われる事件がたくさんあった。

さらには、IT企業の台頭による企業買収劇、コンピューター誤操作による株式売買の巨額な損失と利益、汗をかくことが労働の美德といわれた時代はどこに行

る。聞けば、朝食を食べない児童が2割近くもいるとい

ひたすら社会の歯車として馬車馬のごとく働いた。一方で家庭を顧みず働く代償が今の社会に影響しているのかもしれない。

これから年金会計に大きな影響を及ぼす意味でもこの先は、団塊の世代が世の中の世直し役として活躍してほしいと思う。

「食育」と言う言葉がもて

られており、古希を記念して70名位出席してほしいと願っていたところ、願い配であった。

中学校卒業の同期会を70歳の節目として開催した。280名の卒業生のうち、どの位出席してくれるか心配であった。

議員投稿



村山議員

親離れ子離れ

の同期会の方が懐かしさが強いように思われる。

中学校校舎の建設でモッコをかいだこと、食料不足でお弁当が粗末だったことなど、今思うと苦しかった。

たことが、かえって懐かしく思い出されるものである。

食べ物に自由に手が届き、

あふれる現在の子供達は好

きなものだけ選んで食べる。

親は子供の好きなものだ

が田植えから収穫まで経験することでのありがたみ、食べ物への感謝の気持ちを持つようになったとのこと。

昔は当たり前のことが今

はお金をかけなければなら

ない時代、今一度自らの生

活を見つめ直そうと思う。

食生活の改善が「災い」

のいぬ(ない)世の中に結

びつくかもしれない。

いつも感じるのだが、高

校の同期会より中学校時代

う、それは親が朝食を食べない習慣から起因する。

親が作らなければ当然子供も食べない、そこから心

身ともに悪影響がないわけ

がない。

そんな危機感を国も感じ

取つての「食育」施策か。

青森県鶴田町には「朝ごはん条例」がある、米文化

の継承と正しい食生活の普

及、ごはんを中心とした食

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

国に先駆けての取り組みで

ある。

四国の南国市は地元の棚

田米を利用した米飯給食と

し、各教室に電気ジャーを

置き、炊き立てのご飯を子

供たちに提供する仕組みで、

これにより米の消費量が増

え、食べ残しも減り、当然

棚田農業も守られ子供たち

生活の改善、早寝早起きの推進、地産地消の推進など

こんなことを 調査しました

率はよい方向に向いている
が、納期の変更を再度納税
者には周知徹底する必要が

計画を策定している。
▽調査事項 チョウザメ館
について

公営住宅の整備や土地利用状況などに伴い、計画的に5路線の整備を進めている
③宅地分譲地12区画の内9区画の販売を終えている
④東団地公営住宅の建て替えを実施し、2年間で8棟16戸の整備を終えた。

美深町特別養護老人ホームの民間移管に関する調査は、11月15日第1回目の委員会を開催。

特養民間移管に関する
調査特別委員会

町長・助役、各関係所管職員の出席の下、19年度から、行政として民間移管を計画されている特別養護老人ホームの対応等の説明を町長から受ける。

①民間でできるものは民間へということで19年度から民間移管を進める。

②受け皿としては、町内の法人等で検討している。

③現在の職員が将来に不安のない様に進めていきたい。

④どこの団体が受けても町の負担はすぐには減るものではない。

広報特別委員会

第3回臨時会で審議する
議案の取扱い、議事日程等
について協議した。

公営住宅の整備や土地利用状況などに伴い、計画的に5路線の整備を進めている
③宅地分譲地12区画の内9区画の販売を終えている
④東団地公営住宅の建て替えを実施し、2年間で8棟16戸の整備を終えた。

建設常任委員會

付を創設。
▽調査のまとめ
平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴つて、事務量も増え介護サービスの低下が懸念される。

るが、飼育を始めてから既に16年を経過し、養殖事業の実績を踏まえ、早急に対応策を構ずるべきである。

▽調査事項 美深駅東地区開発について

昭和58年に300匹を放流、平成5年に採卵に成功。平成9・11・13・14年にふ化に成功。

▽調査のまとめ

平成17年魚体調査（H13年）

年採卵魚を腹部切開したが、卵を確認できず。15・2年後再調査の予定）

議会運営委員会

▽11月27日

公営住宅の整備や土地利用状況などに伴い、計画的に5路線の整備を進めている
③宅地分譲地12区画の内9区画の販売を終えている
④東団地公営住宅の建て替えを実施し、2年間で8棟16戸の整備を終えた。

自主自立特別委員会

自主自立特別委員会

老朽化住宅は、立替えを実施し、既存住宅については有効活用を図るために改善

△調査事項 いて
△調査月日 10月19日 公営住宅につ
△調査内容

①地域活性化の拠点づくりとして、公営住宅整備、民間住宅の建設誘導、公園整備、基盤整備などについて、平成13年度に策定した「美深駅東地区住宅地区改良事業計画」に基づき整備を実施している。

12・19日 △12月22日・1月10・11・
第3回臨時会及び第4回
定例会に係る議会広報第56
号の発行に向け、編集会議
及び起稿・編集・校正の作
業を行つた。

12月13日議員の兼職について全議員で協議の結果、町長の諮問機関を除き各自治会・団体・サークル等の兼職禁止を解く見直しをした。

20歳のMessage



西紋自治会

向井 貴恵

恩根内自治会

石谷 智規

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、私にとってとても大切な成長の年だったと思
います。4月に就職した私は、社会人となる大
会人となる大会を知ったのです。

就職して9ヶ月が過ぎました。
少しずつ仕事をことも覚えてきたつもりですが、実際はまだです。
職場には尊敬できる方々

新年明けましておめでとうございます。
あつという間に10代が終わり、私も成人を迎えることになりました。
20歳になつたと言つてもあまり実感はない、まだ10代の気分が抜けません。

今まで親や周りを頼りにして甘えていた自分も、大人と呼ばれる年令になり、とても不思議な気持ちやこ
れからどんな事があるんだ

成人を迎えて

ろうという期待でいっぱいです。
それと同時に戸惑いや不安もありますが、今まで以上に責任感を強く持ち、自立していきたいと思ってい

これから色々なことに挑戦して、今まで出来なかつた事や、やり残した事、それをこれからやりたい事が叶えられるように頑張っていきたいと思います。

今まで以上に楽しみ、たくさん経験

二十歳を迎えて

ばかりなので、今しかない時間の中で最大限に身につけたいです。
二十歳になり成人式も終え、晴れて社会人の仲間入りとなりますが、自分らし

くこれからも過ごしていくたいと考えています。
でもそのためには、たくさん人の支えが必要になつてくると思います。

家族や職場の人や友達、

いろいろな人に迷惑をかけることになりますが、感謝の気持ちを忘れずにがんばります。

現議会広報委員の任期も今回で終わります。
次号からは、新体制で議会広報をお送りします。
年4回発行し、毎号4日から5日かけての編集作業で、いかに議会情報をお知らせするか毎回頭を悩ませています。

少しでも町民の皆様に議会を身近に感じていただけ
るためにも、ご意見をお寄せください。
本年もよろしくお願ひいたします。

編集後記

